

2000. 9. 13

有害サイト閲覧制限

既存利用者にも拡大

携帯各社 子ども対象

NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルの携帯電話各社は十二日、十八歳未満の子どもが携帯電話で有害サイトを閲覧するのを防ぐ「フィルタリングサービス」を来年一月二月に始めると発表した。新しく携帯を買った子どもには今年初めからサービスを適用しているが、既存の利用者にも対象を広げる。

フィルタリングはインターネットのサイトを「アダルト」や「出会い」などに分類して、

有害なものへのアクセスを制限する仕組み。掲示板サイトなどを通じて、子どもが事件に

巻き込まれる例が増えたため、総務省が携帯各社に導入を要請していた。

各社とも親から「閲覧制限は必要ない」との申告がなければ、十歳未満の契約者が持つ携帯電話に自動的にフィルタリングを設定する。ドコモは一月下旬から、KDDIとソ

フトバンクは二月から適用する。

民間団体の「モバイルコンテンツ審査・運用監視機構」が健全と認定したサイトは閲覧を認める。ドコモとKDDIは、利用者がサイトごとに独自に閲覧の判断をできる機能も提供する。

電気通信事業者協会によると、携帯電話・PHSでのフィルタリング利用者の合計は、約三百四十万人（三月末）から、約四百三十万人（七月末）まで増えた。